

TS（トータル・サティスファクション）を目指して M27

成功者の脳の使い方

校長室担当より

皆さんは、千原ジュニアさんというお笑い芸人さんが、吉本の養成所で講師をされた時のやり取りにこんなものがあったそうです。受講生が、「なんでジュニアさんの周りではそんなに面白いことばかり起きるんですか？」するとジュニアさんは、こう答えたそうです。『わしらお笑い芸人の周りだけ面白いことが起きているはずなんかない。でも、わしらは人におもしろい話ができる人間でありたいって決めて生きてる。だから面白いものが引っ掛かるんや。』

この「決めて生きてる」という言葉が私にはとても響いています。脳にはいくつか大きな機能があって、その一つがRASというもので、数多くの情報の中から自分にとって必要な情報を選別して脳内に通すフィルタのようなものです。実は、人生で成功している人はこの脳の機能を上手に使っています。

ただ、この「決める」ことは簡単そうに見えてとても難しい。心の中で「こうしたい」と決めても、願っているだけでは叶えられない。日本は小さいころから、周りに「そんなの無理だよ」「やめときなよ」という言葉をかけられて育つ人が多いため、どこかに「叶えたいけど、無理なんじゃないかなあ」という気持ちをどこかに残してしまう。そうすると「無理」という言葉だけがRASに伝わり、自分の身の回りは無理なことばかりが目立ってきてしまい、意欲を失ってしまう。

ここで大切なのが、ジュニアさんの「決めて生きてる」という言葉の中の「生きてる」という姿勢です。この「生きてる」とは頭の中で「したい」で終わるのではなく「できる」と信じ切ること。すると、その姿勢は「行動」に表れてきます。年末に講演会に本校へ開催した岡田武史さんの講演会。私が「講演会をしたい」で終わるのではなく「講演会ができる」と信じて、自分にできることを必死で行動していたら、どういふわけか本当に多くの方が次々に現れて助けてくれて、最終的には実現するという現象がおきました。これも、自分が「できると決めて」行動

することで、脳が私を導くように、実現に向けて様々なことに目が行くように、選別してくれた結果だと考えています。

皆さんはどんなことができる人でありたいと考えていますか？まずそれを決める。決めたら、それをビジュアル化して自分のできることから行動する。すると、時差はあるかもしれませんが、自分の「脳」が選別して、そのために必要なものを示してくれます。それを自分で選ぶ。ビジネスやスポーツの世界で成功する人はすべてこの脳の使い方がうまい人たちなのです。自己指導能力も含めて、自分はもうありたいかが先。そのあと行動。すると結果がついてくるのです。この一年この意識をもって頑張りましょう。

(令和8年1月16日)